

交換中だより

尼崎市立立花中学校
校長 福田美貴子
平成22年度 学校だより
第13号(H.23.1.18・火)

<http://cen-web/school/J14/index.html>

教育目標「強くー健やかな心身を育てる、正しくー正しい判断力をつける、優しくー思いやる心を育てる」

新年にあたって

校長 福田美貴子

新年を迎えますと、清々しい気持ちになったり、身の引き締まる思いがしますが、みなさんはどうですか。もうお正月気分は抜けていると思いますが、お正月に1年の計を立てたり、志望校に合格しますようにとか、今年1年幸せでありますようにとか、健康に過ごせますようにと初詣をした人もいることでしょう。

今年は干支でいいますと辛卯(かのとう)で、卯年、一般的にはうさぎ年とされています。卯という字には、草が生い茂り地面を覆うという意味があり、そこから物事が繁栄する年だと言われています。また、ウサギがぴよんぴよん跳ねるところから、飛躍の年とも言われています。世間では株価が上がり、景気が上向くのではないかと期待もされています。

みなさんは、ウサギとカメの話はよく知っていると思いますが、プロ野球日本ハムの梨田監督は年頭の挨拶で、「今年はウサギ年だからぴよんぴよん跳ねて首位に立ちたいが、逆にカメになって腰を据えて戦っていきたい。」と話されていました。ウサギの跳躍にしてもカメの歩みにしても、目標に向かって精一杯努力することが大切ですね。



さて、平成23年、西暦では2011年が始まりました。21世紀になり10年が経過し、次の10年の始まりです。この10年間、宇宙関連や、医療関連、そしてIT関連で大きな飛躍がありました。特に、スポーツでは多くの若い人が世界で活躍した10年だったと思います。10年後のみなさんはどこで、どんな活躍をしているのでしょうか。非常に楽しみです。

ここでアルファベットのVとWの話をします。VはビジョンのV、つまり夢や将来の展望、未来の姿です。そしてWはワークのW、勉強や研究・仕事です。ノーベル賞の候補にもあがっている京都大学の山中伸弥教授はIPS細胞を作り出して、世界中で話題になっていますが、先日高校生を集めて講演をしていました。その中で、夢に向かって努力してもそれがすぐ成功するわけではない、自分も何度も挫折し、失敗してきた。けれどもVとWの両方を大切に頑張ってきた結果、こうして難病治療や新薬の開発に役立つIPS細胞を世界で初めて作り出すことに成功したのだ、と言われていました。

みなさんも、自分は将来、こんな仕事をしたいとか、こんなことをして人の役に立ちたい、あるいは人を感動させたいという、5年後、10年後の自分の未来像を描いて、勉強やクラブに取り組むと、やる気も一層わいてくるでしょう。継続する力もついてくると思います。

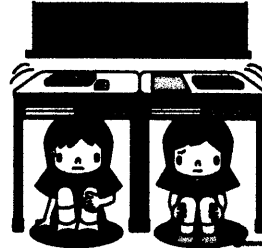
1月は1年の始まりですが、学校では3学期が始まり1年の締めくくりの時期です。学習面や生活面ではこれまでの反省を生かして卒業式や修了式にはよい年だったと言えるよう、しっかり締めくくってください。最後に、2月の中旬頃までは寒さの厳しい日が続くと思いますが、風邪をひかないよう自分の健康や安全に十分注意した生活を送りましょう。

1. 17 あの日を忘れない

阪神淡路大震災から16年。被災地に住みながら、復興したかに見える街並みや何不自
由ない便利な日常生活を過ごしている私たち。いつしかあの日やあの頃の体験を忘れて
風化しがちな私たちの心に警鐘を鳴らすかのように、1月17日が近づくと、新聞やテレ
ビなどでは、あの阪神淡路大震災のことが報道され始めます。

大震災は、「地震」を人ごとと思ひ、本の中や他の国や他の地域のことだと思ひ込んで
いた私たちに何の予告もなく襲ってきました。命を失った人、家族や身内や大切な人を
失った人、家や仕事を失った人、障害や後遺症に苦しんでいる人、水やガスが使えなくて
不自由な生活を余儀なくされた人…、きっと亡くなられた6434人の方々だけでなく、
その何倍、いや何十倍、何百倍以上の悲しみや苦しみがあって、その中の幾つかは今も続
いているのでしょう。

昨日の防災訓練は、犠牲者を追悼し、地震の恐ろしさを学び、震
災や災害に備え、二度と悲劇を繰り返さないために、毎年1. 17
に合わせて行っているものです。また、1年生は、3学期の総合的
な学習の時間に、この大震災の教訓を学び実際に神戸の街を訪問す
る(3月に予定)防災の学習も始めています。



昨年からは、震災で経験した人の温かさ、人と人の絆の大切さも
知ってもらいたいという思いからPTAのご協力で「炊き出し体験」も行っています。朝
から豚汁を作っていたいただいたPTA執行部(OBの方もお手伝いくださいました)・体育部・
有志の皆さん、尼崎花のまち委員会の皆さん、快く大鍋を貸していただいた上ノ島総合セ
ンターのびのび館様、中央消防署様、少年野球チームのユニオン様、寺本貴至様の皆さん
の温かいお気持ちにも、この場を借りて感謝を申し上げます。

尼崎市学力・生活実態調査の速報

2学期の終わりに、教育委員会より学力・生活実態調査(1・2年生を対象に5月中旬
に実施したもの)の分析のまとめが学校に送られてきました。詳細は、次回以降にお知ら
せいたしますが、今回は、「学習意識等に関するアンケート」で、本校の今の雰囲気が良い
とわかりいただけるものをお知らせしたいと思います。(2年生の結果です)

- ・「学校には落ち着いて勉強できる雰囲気がある」
よくあてはまる+まああてはまる 本校：82.1% (市平均54.5%)
- ・「いじめを許さない雰囲気がある」
よくあてはまる+まああてはまる 本校：73.1% (市平均52.4%)
- ・「困っていると助けてくれる雰囲気がある」
よくあてはまる+まああてはまる 本校：78.2% (市平均65.0%)
- ・「がんばったことを認めてくれる雰囲気がある」
よくあてはまる+まああてはまる 本校：73.7% (市平均56.7%)
- ・「チャイムが鳴るとすぐに授業が始まる」
よくあてはまる+まああてはまる 本校：91.6% (市平均71.2%)
- ・「先生は服装や髪型など細かいところまで注意する」
よくあてはまる+まああてはまる 本校：96.2% (市平均81.6%)

(編集責任者：教頭 福井 隆夫)